

《群馬県体操競技女子 小学生1部・準1部・2部・3部比較表》

2024年改訂(案)太字斜体部分

	1部	準1部	2部	3部
学年	4～6年生	2～6年生	2～6年生	1～6年生 ・6年生の部 ・5年生の部 ・4年生の部 ・低学年の部
採点基準	<自由演技> <del>(2013年度版採点規則に準ずる。変更規則Ⅱ)</del> U-12適用規則採点規則2017年版変更規則Ⅱを適用。	<6要素にて演技構成10点満点> (「全国小学生大会適用規則」を基本とし、価値部分は1要素0.5×6=3.00、この構成要素について採点。他の要素は演技実施点として採点。選択できる要素については、難度表にある技とする。※別紙参照 跳馬：規定演技 段違い・平均台・ゆか：自由演技	<規定演技10点満点> 体操競技女子一般ルールに準ずるが、県内小学生大会の対応とし、 〔超大欠点-0.5 大欠点 -0.3 中小欠点-0.1〕で採点 ・採点指針として、スピード・迫力・体線の美しい演技を良しとする。	<規定演技10点満点> 体操競技女子一般ルールに準ずるが、県内小学生大会の対応とし、 〔超大欠点-0.5 大欠点 -0.3 中小欠点-0.1〕で採点 ・採点指針として、スピード・迫力・体線の美しい演技を良しとする。 ※3部は、学年グループに応じた採点とする。
跳箱	・新型跳馬 高さ125cm	<del>跳馬 高さ110cm</del> ・跳び箱 横 約110cm <del>(ぐんまアリーナ6段)</del> <前転とび> ・試技は1回 ・9.50満点+加点0.5	<del>縦</del> ・跳び箱 横 約100cm (ぐんまアリーナ5段) <前転とび> 6段 ・試技は1回(やり直したい場合には、審判に申し出る。2回めを採用)	・跳び箱 横 約100cm (ぐんまアリーナ5段) <開脚とび> 6段 ・試技は1回(やり直したい場合には、審判に申し出る。2回めを採用)
段違い平行棒	・自由演技	・自由演技 ・単バーのみでも可 ①②け上がり2回(同じでも可) ③前回り ④後ろ回り ⑤下り ⑥停止のない演技	・低バーのみ使用 〔・両足踏切逆上がり ・前回り ・後ろ回り ・フットサークル下り〕	・低バーのみ使用 〔・逆上がり ・後ろ回り ・後ろ振り上げ 飛び下り〕
平均台	・高さ125cm ・自由演技	・高さ100cm ・自由演技 ①上がり ②前方or後方ブリッジ ③バランス ④ターン ⑤180度以上の前後開脚を伴うジャンプ ⑥下り	・高さ100cm ・往復運動 〔・両足抜き上がり ・V字座→振り上げ ・大ジャンプ  ・両足1/2ターン ・水平バランス ・側転下り〕	・高さ100cm ・片道運動 〔・両足抱え込み上がり ・V字座→立ち上がり ・反りとび ・抱え込みジャンプ ・両足1/2ターン ・水平バランス ・伸身とび下り〕
ゆか	・自由演技	・曲(約1分 4曲より選択して各自振り付け) ①ジャンプ連続(180度以上の開脚を含む) ②360度以上ターン ③後転倒立 ④ロンダード ⑤後転とび(バック転) ⑥ひねりを伴わない両足踏切の宙返り ※④⑤は連続とする	・曲(ビビディ・バビディ・ブー) ・フローアをTに使用 〔・片足後方ブリッジ ・ツーステップ・スキップ ・両足360度ターン ・片足前方ブリッジ ・エジャッパ・バランス ・シエネターン ・大ジャンプ2回 ・猫ジャンプ1/2 ・前波動・前転とび ～ <b>使身ジャンプ</b> ～ ・側方倒立回転 ・倒立前転→左右開脚座→伏臥〕	・曲なし ・フローアを縦か斜めに使用 〔・両足前方ブリッジ ・1回ひねりジャンプ ・水平バランス・足振り上げ(前) ・ホップから側転 ・後転 ・プリエからシャッセ ・前後開脚座→前にそるえる ・倒立前転 ・前転→垂直ジャンプ→抱込みジャンプ→前後開脚ジャンプ ・はさみとび→ポーズ〕
備考		以前の大会の個人総合優勝者は上の部へ昇格しなくてはならない(1部へ)	以前の大会の個人総合優勝者は上の部へ昇格しなくてはならない(1部・準1部へ)	以前の大会の「6・5・4年生の部」個人総合優勝者は上の部に昇格しなくてはならない(1部・準1部・2部へ)

※1 「以前の大会」とは、小学生総体、県選手権の両方を指す。

※2 「1部参加学年」についての補足(平成14年度追加)

① 2部・準1部の優勝者が2、3年生の場合には特別に1部に参加できるものとする。

② 4年生以下であっても実力を理事長・競技部長が認めた場合には1部に参加する事ができる。